

Hand in Hand

逐次刊行物

'12.1.5

国立女性教育会館
女性教育情報センター

海を渡る鳥は、波間を漂う流木に憩うという。離婚—それは旅の半ばの一つの出来事。
新たな旅立ちをした女たちはいま手を取り合い、女であるがゆえの偏見と差別に向きあう。
ハンド・イン・ハンドは、生きやすい社会をめざし、支えあう女たちの流木である。

Vol.260

新春対談『老後なんてありません』

山本 道枝

◆東京歯科医師保険協会 監事

◆山本歯科医院 院長

昭和3年4月21日に父の勤務先北海道大学で生まれる。昭和21年東洋女子歯学専門学校卒業。開業医勤務、米軍21部隊病院歯科医室勤務を経て昭和30年に目黒にて開業。昭和35年に大田区蒲田に移転。今に至る。

私生活では長男が小学6年生、次男が小学2年生のときに離婚。2人の子育てなどと格闘しながら病院を盛り立てる。現在は2人とも歯学部6年・大学院4年を経て歯科医師として活躍中。



円より子

◆現代家族問題研究所代表

◆民主党前参議院議員

津田塾大学英文科卒業後、ジャパンタイムズ編集局勤務を経て、フリージャーナリスト・作家。女性と家族の問題に関する著作30冊以上。

1979年に離婚をひとつの社会問題としてとらえ、女性のおかれている状況や法・制度を変えようと「ニコニコ離婚講座」を始めるなど、離婚問題・家族問題の先駆け。1993年より参議院議員を3期務め、民主党副代表、参議院財政金融委員会委員長などを歴任。国全体の政治経済の仕組みを変え、女性や子ども、高齢者が生きやすい社会、男性が長時間労働から解放される仕組みをつくりたいと精力的に活動中。

《病弱な子ども時代をへて 戦争に翻弄された女学生時代》

円：いきなり年齢のことをいって失礼ですが、山本さんはいつもお元気で、とても80を越しているようにはみえませんね。歯科医師として現役で治療もされていらっしゃるようですが、どうしたら山本さんのようになれるのか、さぐってみたいと思います。もともとからだが丈夫なほうだったんですか？

山本：いえいえ、子どもの頃は体が弱くて、小学校なんて1年の半分も出席できなかったほどです。

円：びっくりですね。そんな子

ども時代を経て、歯科医になられたわけですが、女性が大学にいくなんてまだ珍しいときですよ。私のときでも女性の大学進学率が5%くらいですから。女性も自立すべしというご両親の教育方針だったんですか？

山本：父は公務員、母は子どもの学費のためというもあり歯科医院を開業していました。教育熱心な両親でした。そんな環境の中で自然に歯科医を目指していましたね。第一希望の東京女子医専に不合格で、母の出た私立の学校に入学しました。

円：まだ戦争中ですね。

山本：ちょうど終戦の年に入学

しました。入学式ありませんでした。東京もかなり危険な状況でしたので、学生みんなで疎開しました。疎開先の栃木で終戦を迎えて、焼け野原の東京に戻ってきました。実家も焼けていたので平塚に家族で移り住みました。聖堂で1年生の授業を受け、その後津田沼の兵舎に場所を移し、3年生の半ばによって元あった場所に戻って授業を受けることができ、卒業しました。

円：大変な時代でしたね。

山本：戦争中ですからね。ちなみに歯科は学費がかかるので、妹と弟は医学部に進みました。

Vol.260 目次

次号の発行は2012年3月上旬予定です

- | | | |
|------------------------|----------------|----|
| ● 新春対談「老後なんてありません」…1 | ● 円より子講演記録 | |
| ● 新春特集「わたしにできること」…4 | 「99%」が幸せに働ける方法 | …6 |
| ・愛知WITHの取り組み | ● 弁護士110番 | …7 |
| ・できることのみつけ方 | ● 会員さんからのお手紙 | …7 |
| ☆新春プレゼント：円より子の著書を5名様に☆ | ● 告知板 | …8 |

Hand in Hand

TEL 03-3261-1835

《就職・結婚・開業・離婚・・・》

山本：卒業後も学校に残って診療所の助手をしていました。給料がたったの1,000円、今の価値だと2万円くらいでしたので、ベルトか何かを買ったらなくなりました（笑）。その後、横浜の開業医のもとでの仕事をを経て、進駐軍の病院に就職してようやくまともな給料を得ることができるようになりました。

円：結婚はいつされたのですか？

山本：26歳のときに紹介で結婚しました。夫は船員でした。義父が歯科医をしていたので、結婚後はお手伝い程度に仕事をしていたのですが、子どもが産まれてから自分で開業しようと思いたち、診療所兼住居を探して引越しました。

円：開業したのは離婚前なんですか？お子さんは男の子が2人でしたね。

山本：結婚中に開業しました。離婚は下の子が生まれてすぐ、私が34歳のときです。

円：何が理由だったのですか？

山本：子どもの育て方に対する考え方があわなかったり、性格の不一致です。開業して生活のめどもたっていたので、養育費もいらないから出て行ってほしいと言いました。



8月。神社にて。

円：お子さんたちはどう受け止めていましたか？

山本：父親のほうにいくとは子どもたちは言いませんでしたね。

《離婚後、仕事と子育てと。元夫の死を知らされず》

円：歯科医院の経営と子育ての両立はハードだったことでしょうね。

山本：家政婦さんを雇って子どもの面倒をみてもらってはいましたが、子どもたちにはさびしい思いをさせました。診察室には入ってはいけないと言っていたので、下の子は私の診療中ずっと廊下で待っていて、私が出てくるとトイレまで付いて入ってきました。

円：うちもそんな感じでした。いつも娘を待たせてばかりでした。学校行事もほとんどいつてやれませんでしたし。

山本：私もそうです。学校行事は入学式と卒業式くらいで、ほとんど行けませんでした。そんな中でも時間をつくって日光に遊びに行ったりもしたのですが、子どもたちは覚えていないようです。

円：お子さんたち、立派に成長されましたよね。

山本：あんな甘えんぼうだった子どもたちが今ではすっかり親を親とも思わないような態度です（笑）。長男が私の医院を継いで、次男は知人の医院を継ぐかたちで歯科医院を開業しました。

円：2人とも大学院まで、しかも学費の高い歯学部に通わせましたね。

山本：銀行に借金して、なんとか大学院までやりました。大学6年、院が4年、10年は長かったです。

円：養育費をもらわなかったということでしたが、元夫とお子さんたちは会っているんですか？

山本：子どもたちは元夫には会いたいと言いませんでしたし、結婚式にもよびませんでした。

元夫は一昨年亡くなっていました。再婚相手の方から連絡がなかったの、知りませんでした。お寺を聞いて、子どもたちにはお参りに行かせました。そうはいっても父親ですからね。

《毎日忙しく。病気もなんのその》

円：山本さんは今もおきれいです。若い頃なんてそうとうおもてになったでしょう。再婚は考えなかったのですか？

山本：もう、めんどくさくて。男友達はたくさんいますが、仕事や勉強、やることがいっぱい。

円：今はご長男といっしょにお住まいなんですか？

山本：長男との二世帯住宅で、妹といっしょに住んでいます。妹とは生活リズムが違うので、一人暮らしみたいなものです。

円：医院はご長男に任せているんですか？

山本：私が病院長で、長男は勤務医です。開業でやっていくには、ノウハウが必要なので。受付にはいったり、材料を仕入れたり、経営のほうをみています。治療にも週3日はいつています。

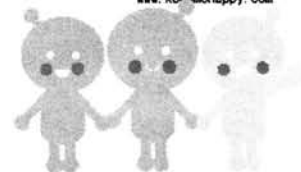
円：子どもの頃は病弱だったのに、すっかりと丈夫で健康な体になったんですね。

山本：いえ、心臓が悪いんですよ。食道もガンの初期ですし。

円：え？そうなんですか？！とてもそんなふうには…。

山本：検診もサボってるんです。病気は気にしないことが一番だと思っているので。虫垂炎も胆石も更年期障害も、そんなことにかまってるひまがなくて、そんなのあったかしら、と感じました。

「子どもHAPPY化計画」展開中！
www.ko-mehappy.com



円：病は気からって。結局、気力なんですよねえ。ストレス解消は何かなさってますか。

山本：忙しくてなかなかできませんが、若い頃はスキーやゴルフをしたり。あと車も好きで、30代でA級ライセンスとって、筑波のサーキットでラリーをやったりしてました。夜中に友達と連れ立って江ノ島までドライブにいったりもしたものです。最近は、海外の推理物を読んだり、映画を観たりですね。三味線もやりたいのですが、とにかくヒマがなくて。

円：今は何をしてお忙しいんですか？

山本：昼は在宅介護や特養でお手伝いをしたり、夜はいろんな会合に出たりして。

円：睡眠時間も短いんでしょうね。

山本：朝は7時くらいに起きて、夜は1時か2時くらいに寝ています。健康に留意して何かやっているとかなないですね。

《老後なんて、ない 人の役に立つことをする》

円：どうしたら山本さんみたいに年齢を重ねてもパワフルでいられるんでしょう。

山本：元気でない方の面倒をみてあげたらいいんですよ。特養に行ってお世話したり、体が動くのなら、人の役に立つことをすべきです。自分にできることを探して。誰かの役に立てると感じられることで、元気になります。あとは、常に頭と体をつかうことです。私、暗算も早いですよ。思えば明治・大正時代の人たちはやっぱり元気でしたよ。

円：山本さんにとって、何歳からが老後ですか？

山本：老後なんて、ありません。生涯現役です。

円：まったくです。さらなるご活躍をお祈りしています。今日は元気を分けていただきました。ありがとうございます。

円より子からひと言



山本さんはいつ会っても元気で颯爽としていてとてもおきれい。世間では65歳からを高齢者とよびますが、しっくりきませんね。ハンドの会で今年実施した老後アンケートでは、老後は70歳代からとする人が50%、60歳代とする人が40%、ジャスト80歳代とする人が10%でした。その一方で体の続く限り働きたい気持ちもしくは必要のある人が多かったことを考えると、老後なんてない、が本音かもしれませんね。社会システムが変わる中、老後のあり方も変わらざるをえないところでしょうか。長生きすると大変なこともあります。が、「老後なんてないわ!」と前向きに楽しみたいものです。



新春 プレゼント

年の初めに読みたい 円より子の著書を合計5名様に!

新潮社 1991年1月

①「ターニング・ポイント 一女が別れを告げるとき」…2名様

「ニコニコ離婚講座」での相談をもとに綴られた14人の再出発の物語です。今、転機をむかえようとしているあなたに読んでいただきたい一冊です。

日本評論社 2004年5月

②「一人でも変えられる」…2名様

1999年8月11日、盗聴法の強行採決を阻止するために、深夜の本会議で、たった一人で3時間のフィリバスターを敢行した円より子の記録です。読むと、熱い思いと闘志が伝わってきて、立ち上がる勇気がもらえます。

第一法規 2010年4月

③「女と通貨と政治文化」…1名様

女性初の参院財政金融委員長を務めた円より子が、経済低迷の原因を追究。政治や経済の話はとっつきにくい、という方、ぜひとっかかりの一冊として、読んでみてください。経済用語に関する脚注が細かくはいついていますし、政治家・官僚とのこぼれ話もたくさん収録されていて、きっと興味がわいてきます。

《応募方法》

ご希望の方は、ほしい本のタイトルと、ハンド260号の感想、お名前、住所、電話または

メールアドレスを、1月31日必着で郵便またはFAX・メールで事務局に送ってください。

厳正な抽選のうえ5名様にプレゼントいたします。

賞品の発送を持って当選発表とかえさせていただきます。



新春特集「わたしにできること」

3.11をきっかけに、自分に何ができるだろう、と考えた人は多いのではないのでしょうか。

或いは子どもが巣立って時間に余裕ができた、毎日忙しいけれどそれだけで終わりたくない、お給料のいい仕事に転職するために技術を身につけたい、そもそもわたして何ができるのかしら・・・

新年はものごとを始めるいいきっかけ。

できることってどうしたらみつけるのか…ヒントを探してみました。

愛知WITHの取り組み「私が提供できること」

ハンド・イン・ハンドの会を母体に始まった会、「愛知WITH」では、会員同士で自分が提供できることというのを挙げて、相互に提供しあうという取り組みをはじめています。(リストを下に掲載) どうせ誰かに依頼するのなら会員さんに依頼してお仕事になったほうがいいですし、なにより安心、ですものね。ハンド会報で私の提供できることをお知らせしたい! という方がいらっしゃれば事務局までご連絡ください。

資格等	できること
司法書士	相続、遺言状作成と後見人について
フラワーコーディネーター	アレンジメントフラワー料理教室
NC認定ナチュラルチャネラー	オリジナルヨガと瞑想メッセージカードリーディング
脱毛師 薬剤師	脱毛相談と施術
ヘルパー2級 危険物取扱免許	簡単な日常英会話
鍼灸師	鍼灸とアロマエステ
社会保険労務士	年金情報の提供及び メール無料年金相談
WEB店舗「子供服」	ひとり親家庭への就業支援

資格等	できること
すずめの木相談室 セラピスト	女性のための心理カウンセリング
財)日本病院管理教育協会講師	占いで開運相談 医療事務と就職
命の食の作り人	農業、味噌作り 畑作りのプロデュース
大道芸人	子どもに夢を提供する マジックとパフォーマンス
絵画教室主催	誰にでも描ける三原色の絵
ラッピングコーディネーター	和雑貨のお店 インテリア相談
看護師	看護と介護、及び子どもの 発達障害の相談
音楽教師歴30年	コーラスや歌の指導

「取り組みをはじめた経緯」 愛知 WITH 代表 さん

自分の好きなことや又は持っている資格などで母子家庭の方たちのお役にたてたらと、このような取り組みを始めました。どんなに年齢を重ねても、人から必要とされることは、当人の生きる力になると思います。WITHの皆さまは向上心があり、自分の好きなことを見つけた方が多く、協力的だからできたことです。

私自身が占いを勉強するようになったきっかけは、運命学や開運学に興味を持っていて、それは統計学の確立の問題で5割から7割の間で当たると知ったからです。また離婚相談を受けた時に夫婦の相性などを聞かれたことがたびたびあって、相談の時の話のきっかけになると思ったからです。「占い」でしたら、気軽に聞けますものね。



できることのみつけ方① 「感謝をカタチにしたくて」 愛知 さん

左記の愛知 WITH 会員 さんは昨年11月に、鍼灸院をオープンしました。どんな道をたどってきたのか、お話を伺いました。

さんは離婚してから約20年。別居したときに3歳だった息子さんは23歳です。元々建築士として建築関係の仕事をしていました。息子が高校を卒業すれば、経済的にも解放される。息子さんの高校卒業が さんの中でひとつの基準になっていました。その後は何をしようかと10年くらい前から考えはじめたそうです。

離婚してからは子育てしながら仕事できる条件のところを探して働いてきました。へとへとの中、体に関することをやりたい、健康という人間のベーシックなところに関わりたいという思いがわいてきました。8年ほど通っていたヨガの教室で東洋医学の考え方にふれてきたことから鍼灸師が浮かんできました。

息子さんの大学入学と同時に さんも専門学校に入学。「元夫が養育費をちゃんと送ってくれていたから、そういうチャレンジができた。私は恵まれていた」と さんは言います。アルバイトをしながら通い、無事国家試験に合格。「鍼灸の道はずっと勉強。今までしてきた

ことの延長にあると思って、物怖じせず開業したほうがいい」という恩師の言葉を信じて、卒業して2年目の昨11月、開業しました。鍼灸院のある住宅街は高齢の夫婦世帯が多いので、介護予防指導員の資格を活かして地域に貢献し、人が集まるような場所になるといいな、と思っているそうです。

◇ ◇ ◇

ここまでの道のりは、思い悩んで決めたとかではなく、脳みその奥、潜在意識に導かれるようなかんじだそうです。きっと、「何かないかしら」と好奇心のアンテナが立っていたのですね。

お話を伺う中で、たびたび さんの口から出てきたのが「私は恵まれている」という言葉でした。働きながら勉強したり、そうはいつでも辛い時もあったと思います。そんな中でも感謝の気持ちを忘れないでいたことが、さらなる幸運を運んできたのではないのでしょうか。

「感謝をカタチにしたい」という思い。これが さんの『できることのみつけ方』でした。

さんの鍼灸院『 』

できることのみつけ方② 東京忘年会でもみんなで探してみました



3人のお世話係さん（愛知の さんや熊本の さん、埼玉の さん）や相談員さん、大阪から参加してくれた方もいて、昔話や近況で、途切れることなく会話が続きしました。

ハンド横浜の会のメンバーが沖縄に移住して女性のためのシェアハウスを作っていました。電話相談員をしていた人が今は調停委員としてハンドの相談員で得た知見を活かして離婚調停している人にアドバイスをしていたり、カウンセリングルームを作った人がいたり、それぞれができることに一生懸命取り組んでいるようでした。

「できること」は資格や特別なことでなくてもいいんですね。

「失業したけどおかげで保険を見直す時間ができて無駄をなくすことができた」というとっても前向きなできること（できたこと？）もありました。

「バレエを続けています」これも素敵なお「できること」ですね。

みんなで楽しく忘年会をすることができたのも、思いやる心や気遣いなど、参加したみなさんの「できること」のおかげです（スタッフ一同ご協力に感謝！）。

自分では特別とっていなかったようなところや、これまでの延長線上にできることがありそうです。

自分の「できること」を発掘して、明るい気持ちで新年をスタートしましょう。

円より子代表 講演記録

北海道 I T 活用による在宅就業支援事業 講演会 (11月27日札幌)

「99%」が幸せに働ける方法



北欧でのカルチャーショック

みなさんたいへんお若いので海外旅行に行かれたことがあると思いますが、私が大学生の頃は1ドル360円でそうそう海外にいける時代ではありませんでした。そんな時代でしたので、ジャパニタイムズなら海外駐在できると思って就職したのですが、甘かった。海外駐在はおろか海外に取材に行けるのも、男性だけだったのです。私が行かせてほしいと言ったら、「先例がない」と。まだ男女雇用機会均等法もない時代でした。それでも食いが下って、1ヶ月無給で取材して記事を送るならという条件で、スウェーデン・デンマーク・ノルウェー・フィンランドの北欧4カ国に行ったのが、私と北欧との出会いでした。

離婚後も毎朝元妻の家に子どもを迎えに行き保育園に連れて行く男性にびっくりしました。日本では今でも考えられないことです。ごはんを作って食べさせ、歯磨きをさせてお風呂にのびのびと、「男の人でもこんなに子育てができるのね」と言ったら、子どもの靴下も手編みしたと聞き、さらに驚かされました。スウェーデンの保育園には3歳児用のキッチンがあってシチュエーションを作ったり、大人用の大工道具をつかって小鳥の巣箱を作ったり、男女関係なく生活に必要なことを誰でもできて当たり前という教育をしていました。「年齢や性別、障がいの有無に関係なく、できることがあればできる人がやる」という考え方なんです。街には日本とは比較にならないほどたくさんのお車椅子の人がいました。日本では障がいイコール恥づかしいことだと、障

がい者を家に閉じ込めてしまうんですね。障がいのある子どもを産んで離婚された女性もいました。でもスウェーデンでは障がい者も、仕事だってスポーツだって、なんだってやっていました。80代の方が老人ホームから有償ボランティアに働きに出たりもします。「社長夫人だって誰だって働くのが当たり前」なのです。これは10代の女の子が妊娠したときの対応にも現れています。日本ではまず学校を退学させます。女の子は中卒で子どもを抱え、職に就くこともできず生活保護を受ける。一方スウェーデンでは、職業訓練を受けさせ、子育てしながらちゃんと自分の力で食べていけるようにする。

「99%」をなんとかしなくては

今は多少改善されていますが、30年前は離婚した女性は保証人がいないからという理由で賃貸住宅が借りられませんでした。さらにバカげたことに職業訓練校に入るのにも連帯保証人が必要で、離婚を機に親兄弟、親戚と縁遠くなりがちな女性たちが職業訓練すら受けられないと泣きついてきて、わたしはずいぶん多くの女性たちの保証人になりました。これは議員になってから課長通達で変えさせましたが、こんな差別おかしい！という怒りから「ニコニコ離婚講座」開催にいたり、離婚女性・母子家庭のネットワークであるハンド・イン・ハンドの会をはじめました。しかしネットワークだけではだめなんです。雇用がなくては、右肩上がり時代は、がんばればなんとかなる「がんばれた時代」でしたが、今は若い男性でも職

を得にくくなっています。アメリカの若年層の失業率は17.7%、日本は7.8%。ウォール街のデモは1%のお金持ちから献金してもらって就任した大統領が1%のための政治をしていることへの「99%」の抗議です。わたしたちはまさに「99%」です。「99%」を政府への不満から目をそらせるために仮想敵をつくり、戦争を始めようとアメリカはしています。日本では生活保護が過去最高の205万人です。好き好んで受けている人は少ないと思います。働いて、人の役に立って生きていきたいものではないでしょうか。「99%」のために、戦争を止め、セーフティネットを張らなくてはなりません。

在宅就業は「働き方革命」

母子家庭のお母さんの多くは、9時-5時の仕事だけでは食べていけません。平日の夜は皿洗い、週末はホテルの清掃のバイトと、2つも3つもかけもちして、体調が悪くても病院に行く時間もなくていつもへとへと。これでは体を壊してしまいます。なんとかしなくちゃ！と10年前に考え付いたのが在宅就業でした。子どものそばにいられるので子育て世代に適していますし、通勤が減れば環境にも優しいし、家族や地域と過ごすことができる。ラッシュにもまれないから高齢者だって働くことができます。「働き方革命」をおこせます。東京ガスが協力してくれ、議員連盟を立上げ、NPO法人あごらの設立に尽力し、モデル事業としてはじめてもらいました。理想論を掲げてかれこれ10年やってきました。みなさんはその第1号、革命の第一歩なんです。

人生は長いようで短くて、たった一度きりです。離婚しても再婚しても障がいがあっても、しっかり働いてしっかり食べていく、それが生きることでありプライドを持つことだと思います。もちろん在宅就業の課題もまだまだありますが、みなさんのがんばりに報いられるよう、私も法的整備や入札の問題点改善など、尽力していくつもりです。ご清聴どうもありがとうございました。(完)



NPO法人あごら

NPOあごらは発足以来、ひとり親家庭の在宅就業支援に取り組んでまいりました。現在あごらデータセンター(東京都ビジネスサービス(株)運営)では常時200名以上の方がインターネットを通して自宅でデータ入力などの仕事を行っていただいております。私たちはこの長年つくってきた仕組みを北海道や福島県や島根県など各地のひとり親家庭の在宅就業支援事業に活用しています。これに加え、今年は、東日本大震災の復興に、この在宅就業の仕組みがセーフティネットとして活かせるの思いから、被災地支援の活動を行っております。東北最大の

被災地である石巻市では、北海道と同様に「ひとり親家庭等の在宅就業支援事業」を実施中で、多くの母子家庭のお母さん方から事業へ参加申し込みがありました。被災者の皆様は、自宅を失い、仕事場を失い、働く場所もない、働く仕事もない状況にあります。仕事をして収入を得るという姿を早くつくり、被災者の皆様が自立できるよう支援活動が続けたいと考えております。

(NPOあごら事務局 城信雄)

《あごら公式サイト》<http://npo-agera.org/>《ご参考》在宅就労者の「応援広場」<http://hiroba.biz/>

弁護士二一〇番

《回答者》弁護士 松山理香

Tel 06-6130-5610



【事務局より】あなたのお悩みをお寄せください。誌上に回答いたします。※全てが掲載になるわけではありません。また、選ばれた場合にも掲載までに3ヶ月程度要しますのでご了承ください。

Q 1年ほど前に協議離婚をしました。普段はいい人なのですが酒癖が悪く、飲むと豹変して暴力をふるう夫に愛想が付き、わたしから離婚をきりだしました。絶対に離婚はしないとごねられたので、慰謝料も財産分与（そもそも分けるほどなかった）も何ももらえないからとにかく離婚してくれといって、しぶしぶ承知させ、5歳の息子連れて家を出しました。

今年の春に息子が小学校にはいるので学費など今後かかるお金について考えてみたら、どうしても私の収入だけでは足りず、どうしても私の収入の半分は息子に必要です。元夫に子どもの養育費を出して欲しいという要求することはできるでしょうか。そもそも元夫の酒癖が原因で話し合いがまとまらず、協議離婚なのでお金について書面で取り交わしたとかではありません。

離婚後も息子と月1回程度は会わせていて、元夫も子どもへの愛情はあるようですが、私にも戻ってほしいです。いい方法はないでしょうか。

A ご相談者のように離婚の際に養育費の取決めをしていない場合でも、後から養育費の請求をすることはできます。離婚の際に養育費を決めていても、子どもが大きくなって決めた養育費では足りないというときは増額の請求をすることもできます。逆に、払っている側がリストラなどで収入が減ったときには減額の請求もできるのですが。

方法としては、ご相談者の場合は、お子さんが月一回面会交流をしていて、お子さんへの愛情もあるということですから、まず元夫に養育費を払って欲しいと請求をすることから始めればよいのではなないかと思えます。養育費の額については、家庭裁判所が作成した双方の収入から算定する養育費の算定表があり、この算定表は東京家庭裁判所のサイトで見ることもできますので、参考にしてください。

元夫が応じてくれない場合には、家庭裁判所に調停を申し立てることになります。申し立てる家庭裁判所は、元夫の住所地を管轄する家庭裁判所になります。弁護士に依頼してもいいですし、ご自分で申立をすることもできます。

調停では、調停委員が間にあって双方の事情を聞き、双方の収入の資料の提出を求めるとなります。そして、養育費の算定表を参考に話がされることも多いです。ただ、調停は話し合いの場ですので、双方の合意がでなければ成立しません。その場合は調停が審判に移行して、裁判官が養育費を決めてくれます。審判がされても養育費を支払ってくれない場合は、給料の差押えなどの強制執行をすることもできます。

夫婦が離婚しても親子関係は続き、親として子どもの養育費を支払わなければなりません。ご相談者と元夫の関係とは全く別の問題ですので、ご相談者が元夫の下に戻る必要はありません。きちんと養育費を払ってもらえるように頑張ってください。

円より子の

「のんびり歩こう」

女がひとり生きていくのってほんとうに大変。辛いことや悲しいことを笑い飛ばして、しなやかにたくましく生きてまいりましょう！

【第五回】ぼおっとしている幸せ

般若心経の般若ってどういう意味か知ってますか。「悟りを得るための真実の智慧」とか「あらゆるものごとを見通す見識」というものだそうです。とても私はそんな悟りを得るような境地にはいかないけれど、時々、この般若心経の写経をしています。もともと習字が好きで、正月二日には墨をすって書初めをしたものです。その割にはちっとも字はうまくならないのですが、墨をたつぷり含んだ太い筆を和紙にすつとおろす時の感覚、そして墨が和紙にじんできく様がなんとも心地よくて、「お習字」がしたくなる。掘りたつのある私の小さな書斎の棚には硯や筆がいつでも使つてちょうだいという顔で待っています。写経を始めたのは最近ですが、閑居して不善をなす小人の類いの、そして煩悩の多い私のこれからの休日の過ごし方としてはなかなかいいと思っています。11人で1人の高齢者を支えた時代になつた年金制度が、今、3人で1人を支える時代になつて揺らいでいます。雇用も不安定だし、長生きしたつて江戶時代の人たちのように、長くなった余暇時間を上手に活用したいもの。

昨年は三・一一という、ほんとうに辛いできごとがあり、年が改まったからといって、大切な人を失った悲しみ、家や街や仕事を失った苦しみが消えるものではなく、全ての人の胸に鉛のような重りがつかえていますが、それを祈りに変え、苦しみの中から幸福を見つけていくしかない。そのために、つまらなく与えられた長い時間を、一人で寂しい、つまらないと思うより、たつぷり時間を楽しみましょう。一日、まったく外へも出ず、プッチーニのオペラ「マダム・バタフライ」なんて聞きながらぼおっとしていたり、ただ墨をすつていたり。そんな一日のあつたことを幸福に思うこの頃です。

告知板

— 近々の会合やイベントのお知らせです —

大阪

《お世話係：》

※電話でのお問合せは事務局まで

大阪ニコニコ離婚講座

① 1月21日(土) 午前10時～12時
「リラックス・ボディワーク」

仕事と家事に追われストレスの多い毎日の緊張をほぐし、美しい姿勢と呼吸法を取り入れた動作で身体をほぐしませんか。ウォーキングやストレッチで身体と心をリラックスさせましょう。

◆講師：Brisa 主宰者 栗岡多恵子さん
(ヨガインストラクター・アロマセラピーアドバイザー)

◆会場：ドーンセンター地下スタジオ
◆準備する物：動きやすい服装、飲料水、床に敷くもの(バスタオルなど)

◆参加費：1,500円

◆申込み不要(お子様連れの場合はご一報ください)

② 2月4日(土) 午後1時半～4時半
「離婚に関する法律」

離婚係争中の人、迷っている人にとって、決断の拠り所となる法的な情報を分かりやすくお話しいただきます。別居期間中の婚姻費用分担、子の親権者・監護権者、養育料、財産分与、慰謝料、調停、裁判、等々、質疑応答形式で、聞きたかったことがここなら聞けます！

◆講師：弁護士 竹川幸子先生

◆会場：ドーンセンターセミナー室

◆参加費：1,500円

◆申込み不要(お子様連れの場合はご一報ください)

《ドーンセンター所在地》

大阪市中央区大手前 1-3-49

TEL: 06-6910-8500

東京

《お世話係：》

※電話でのお問合せは事務局まで

●東京例会●

1月25日(水) 午後6時半～8時

2月15日(水) 午後6時半～8時

離婚しようか悩んでいる方、離婚後なかなか元気でない方、困っている方より子さんのミニ講座つきです。ふるってご参加ください。

◆会場：ハンド事務局

◆参加費：300円

◆申込み：事務局まで電話またはFax・メールにて・お名前・電話番号・メールまたはFaxをご連絡ください。定員10名(最少遂行人数4人のため中止となる場合もあります。)

●ハンド事務局(東京都千代田区一番町4-42-6F Tel: 03-3261-1835)

[交通] 半蔵門線半蔵門駅5番出口から徒歩1分



読者からのご意見

(大阪在住Tさん)

259号特集の中でご紹介した「公的年金担保融資」について、新聞で、返済できなくなり生活がなりなくなる人がいること、生活保護を受ける(=年金と生活保護の二重取り)人がいることなどから廃止にむかっている制度のようだけどもだじょうぶなのか、とご意見をいただきました。厚生労働省にこの件につき確認したところ、指摘のような問題もあるけれど、貸し出しの仕方など運用の改善で防げる部分もあること、この制度で助かっている人もたくさんいることから、廃止するとしたら替わる受け皿をしっかりと準備する必要があるとのことでした。どんな制度も使い方次第ということもあるかもしれません。引き続き追っていききたいと思います。ご意見ありがとうございました！

メルマガ配信中

セミナー・講座・お得情報の配信希望者は、登録したいアドレスから、件名「メール配信希望」+氏名を info@gendai-kazoku.jp にメール送信！
携帯・PC どちらでもだいじょうぶです。
(携帯の方は右のバーコードリーダーをご利用ください)



●●●会費について●●●

会費の期限がきている方には振込票を同封しています。該当の方はお振込みをお願いします。

① 1年間 3,600円 ② 2年間まとめて前払いの場合 6,000円 (7,200円を大幅お値引き！) ③ どうしても苦しい方は出せ払いもしくは免除をお申し出ください。

【お振込先】各地の郵便局にて

00140-6-120542 ハンド・イン・ハンドの会

各地のお世話係

困ったり、楽しいことがしたいとき、気軽に連絡を！
不定期で会合を開催しているところもありますので、お近くのお世話係さんに連絡してみてくださいね。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

仙台
埼玉
埼玉
静岡
愛知

香川
福岡
熊本
長崎

長崎お世話係が事務局にいらっしゃいました

11月25日、長崎のお世話係さんが事務局にいらっしゃいました。久々の対面に、懐かしい話で盛り上がりしました。

は2歳の息子さんを連れて離婚してから14年。アルバイトや仕事をかけもちしながら社会福祉士とヘルパーの資格を取得して、現在は長崎市西部地域包括支援センターのセンター長をされています。名前のとおり明るくて、長崎から温かい風を東京に運んで来てくれました。



円より子講演予定

国立女性教育会館主催の「シングル・マザーのキャリア支援」をテーマにした研修で円より子が講演を行います。
日時：2012年2月4日(土)～5日(日) (1泊2日)

円講演は2/5(日) 10:00頃から40分程度

会場：国立女性教育会館(埼玉県比企郡)

対象者：死別・離別女性

参加費・交通費無料(食費のみ自己負担)

参加者募集 具体的な研修内容や詳細は決まり次第メルマガにてお知らせします。就職知識や面接術、メイクレッスンなどを予定。お問い合わせは下記事務局へ。

事務局連絡先

TEL.03-3261-1835 Fax.03-3261-1836

Mail info@gendai-kazoku.jp

〒102-0082 東京都千代田区一番町4-42-6F

■ハンドHP: www.gendai-kazoku.jp

■円より子公式サイト: www.madoka-yoriko.jp

■mixi コミュ(離婚110番) mixi id=3602342

登録希望の方は「mixi 招待希望」と事務局に空メールを！

事務局便り

【倉林】 昨年は大震災や原発の問題など、かつて経験したことのない【長島】 今年も安心して暮らせる日本になることを祈っています。本年もよろしくお願【週末】 2011年に学んだことを忘れず、備えあれば憂いなし、で元気をしっかりと取りたいと思います。

はかりで、落ち着かない日々でしたが、新しい年を迎えて、少しずつで

役にたてる活動ができればと思っています。